

令和7年度 第2回高知県入札・契約監視委員会 議事概要

開催日時	令和8年2月10日（火）午前9時30分から10時30分まで
開催場所	高知市本町5丁目3番20号 高知共済会館 3階 桜の間
出席委員	原田 委員長 山本 副委員長 稲田 委員 奥村 委員 近藤（啓）委員
次 第	<p>1 開会 土木部副部長挨拶</p> <p>2 議事 (1) 抽出事案の審議 ・市野々地区外 6地区急傾斜地崩壊対策施設適正管理推進工事 ・川井地区 地すべり対策工事 ・県道本川大杉線（上津川橋）橋梁修繕工事 ・県道桂浜はりまや線 道路無電柱化対策設計委託業務 ・四万十川 河川改修維持委託業務</p> <p>(2) 令和8年度入札・契約制度の改正について</p> <p>3 その他 (1) 次回の開催日程について (2) 抽出委員の選定について</p> <p>4 閉会</p>

<抽出事案の審議>

意見・質問	回答
<p>市野々地区外 6地区急傾斜地崩壊対策施設適正管理推進工事</p> <p>(意見なし)</p>	<p>—</p>
<p>川井地区 地すべり対策工事</p> <p>・人件費や資材が高騰していくなかで、今後の見通しや意見を伺いたい。</p>	<p>・地すべり対策工事は急峻な現場での工事であったが、嶺北地域の建設業者は特に南海トラフ地震を含め地元貢献の思いが強く、よほど施工性が悪かったり、価格が合わないことがなければ、地元のためという思いを持って受注いただいている。</p>
<p>県道本川大杉線 (上津川橋) 橋梁修繕工事</p> <p>・地形が良くなく地元との兼ね合いも難しい工事の落札率ほどのような状況か。</p>	<p>・事業者が少ない地域で、公告した工事を受注していただいているが、やはり価格競争が多く、落札率は最低制限価格に近づいている。</p>
<p>県道桂浜はりまや線 道路無電柱化対策設計委託業務</p> <p>・総合評価で県内在住の評価項目に大きく差がついたのはなぜか。</p> <p>・総合評価方式で発注するとき、工事内容によって評価項目が変わるのか、また、評価項目は見直すのか。</p>	<p>・経営規模の大きいコンサル会社であれば、高松や他のエリアに在住している技術者に担当することが多いが、加点を受けた業者は県内在住の技術者を配置したため、配点が高くなる。</p> <p>・毎年、県内・県外の業界団体に意見を聞きながら改正を行っている。また、評価項目は工事の特性によって変えることがある。</p>
<p>四万十川 河川改修維持委託業務</p> <p>(意見なし)</p>	<p>—</p>

<全体を通しての意見>

- ・総合評価方式により必ずしも最低価格で入札した業者が落札者にならない入札結果となっている。総合評価方式を広めていけば、業者は悪戯に低い価格で落札することがなくなると思うため、是非今後も業者と十分な意見交換を行ったうえで制度改正していただくようお願いする。

<次回の開催日程について>

- ・委員会は、原則年2回以上、例年9月と2月に開催しているが、原則年1回の開催について、高知県の働き方改革における業務の効率化を踏まえ、委員長と事務局で検討し、事務局から委員へ周知することで了承された。
- ・次回の抽出議案の委員は井上委員に了承された。